

連盟会長山崎専司様のご冥福をお祈り申し上げます

流 剣

流山市剣道連盟広報誌

平成25年12月24日

号外

発行人 安達 友昭
佐藤 敬次

流山市剣道連盟事務局
昆野 雄三 ☎7159-0278

ホームページ
<http://ryukenren.com>



弔辞
流山市剣道連盟会長 山崎専司君の突然の訃報に接し
連盟を代表し謹んでご霊前に弔辞を捧げます。

私共剣道連盟の関係者は最近の会長の体調に関しては余り芳しくないという耳にしておりましたが、今年の八月の第二十八回姉妹都市(相馬市)交流親善少年剣道大会の結団式に激励のご挨拶をされた折の姿を見たことが最後とは夢にも思いませんでした。

誠に残念の一語に尽きる思いでいっぱいであります。想いおこせばあなただけが今から三十七年前の昭和五十一年に鱈ヶ崎小学校に体育館の竣工を迎えたことにより流山支部より分離独立し鱈ヶ崎支部を創立し初代支部長と



相馬からご参列の阿部会長と佐藤理事長



して地域の青少年の健全育成と親睦の和を広げること
を目的として剣道活動を始めましたね。

特に若い人達を集い活発な稽古で支部の名を高め平成六年に五市親善剣道大会には鱈ヶ崎支部グループの活躍は目覚ましく優勝を導く原動力になったことは忘れ得ぬ思い出として記録を残しております。

生業の事業の責任者として又ご尊父様の後を継ぎ流山市議会議員に立候補され市政に携われ、平成十八年には剣道六段を取得されました。平成二十一年に我が流山市剣道連盟の第五代会長に就任されました。平成二十二年には千葉県剣道連盟の理事にも就任され、これからの連盟の組織の充実と発展にご尽力をして戴くべく最中に病に倒れ療養に専念されておられました。

又、特に今年の市政の重点のひとつとしてスポーツの振興、防災の拠点としての新体育館の早期建設の促進に専念され私共に署名運動を託され二万三千四百三十二名もの署名を得ることが出来、市議会議長に陳情し特別委員会で全会一致の成果を得られました。

この十二月市議会の定例議会初日(十一月二十八日)の先議案として施工業者との契約条件として提案され議決され晴れて建設着工の道が確実となり、その結果を見る直前に逝去され誠に思い出しますが、思いが叶ったことに対し後世に伝えられる大きな功績かと思えます。

この様に日々生活の中で多種多様な複雑な仕事をされ精神的、体力的な負担で疲労が重なり剣道で鍛えた体力も限界を越えて病状が急速な悪化を招いたと思えます。

ご家族の皆様は落嘆はいくばかりかはかりしれないと思えます。どうぞご自愛下さいますようご祈念申し上げます。

会員一同、山崎会長の意志を継ぎ一致団結連盟の発展に邁進して参ります。どうか安らかにお休み下さい。
ご冥福をお祈り申し上げます。お別れの言葉といたします。
合掌

平成二十五年十一月三十日
流山市剣道連盟
代表 小久保正路